

令和3年12月
横浜市立大学 国際教養学部
都市防災計画研究室（石川永子研究室）

「令和元年台風19号水害被害・地域防災に関する調査」 速報値（川崎市版）

※本アンケートでの「令和元年台風19号」とは、令和元年10月12日に発災した台風19号（令和元年東日本台風）とします。

【調査対象者】

川崎市上下水道局発行「内水ハザードマップ」で、想定される浸水深さが50cm以上のエリア内に、現在お住まいの方、令和元年台風19号当時にお住まいだった方。同エリアに現在、お住まいの方。

【ご回答方法】

アンケート用紙に回答、返信用封筒にて返信

または、別紙に記載のあるQRコード/URLよりオンラインにて回答

【ご回答期限】

令和3年9月1日（木）～9月22日（水）

【回答数】

462通（郵送回答：347、WEB回答：115）

【調査実施者】

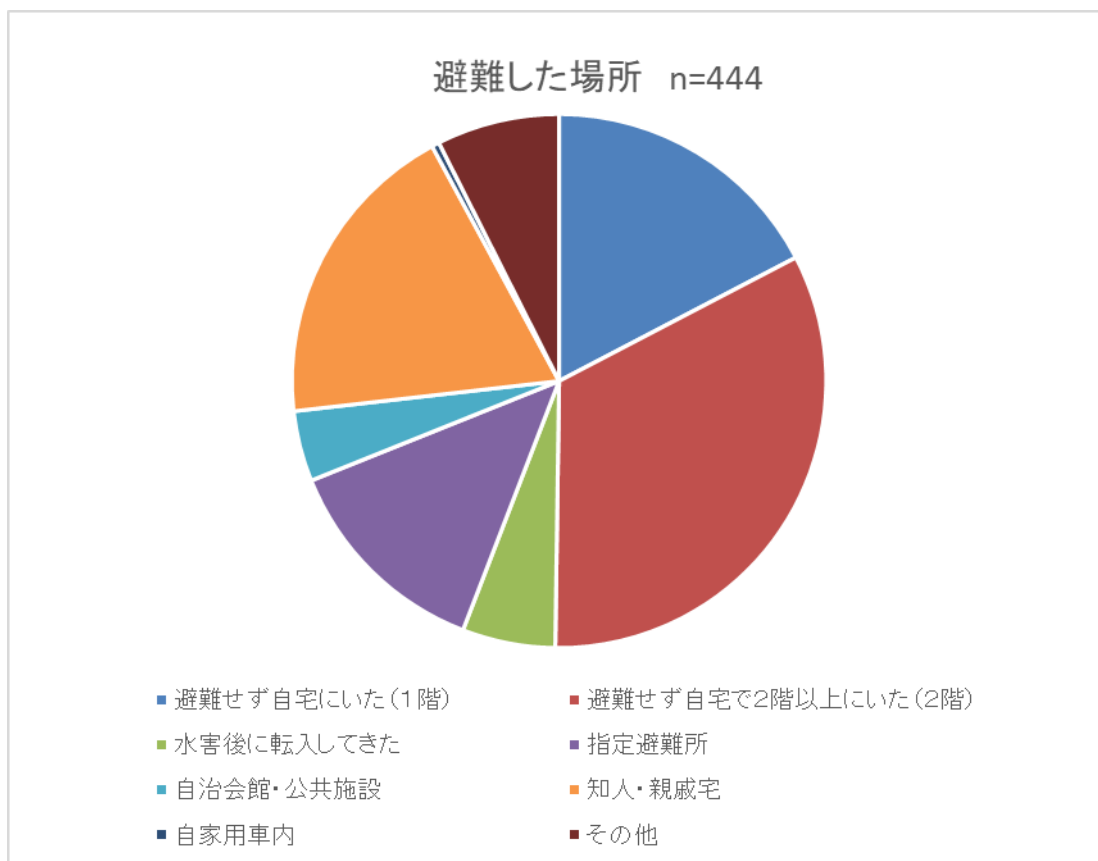
横浜市立大学	准教授	石川 永子		
東京都立大学	名誉教授	中林 一樹		
日本女子大学	教授	葉袋 奈美子	大学院生	石田 雅美

お忙しいところ調査にご協力いただき
誠にありがとうございました。

1. 台風19号時の避難について

※すべての方を対象とした質問です

質問1 台風19号の浸水被害が発生した当日、命を守るために最初に避難した場所はどこですか？ 1つだけに○をつけてください。



【その他】

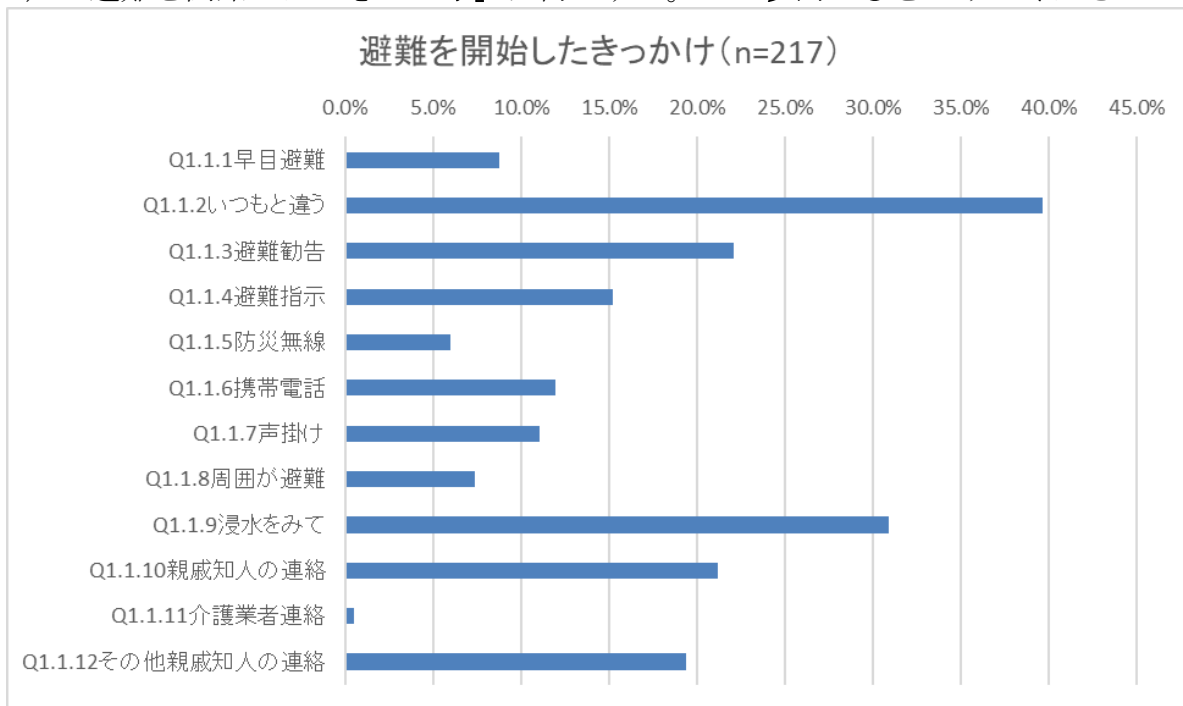
近隣のアパートの3階／職場／ホテル／子の家／高速道路パーキングエリア／避難所近くの駐車場（ペットがいたため）／マンションの上の階／別宅

⇒約半数が避難せず自宅に留まっている。

避難した方の中で最も多いのは「知人、親戚宅」であり、そのつぎに、指定避難所となっている。

1 避難した方（選択肢 4～8 を選択された方）にお聞きします。

1) 避難を開始した「きっかけ」は何ですか。3つ以内で○をつけてください

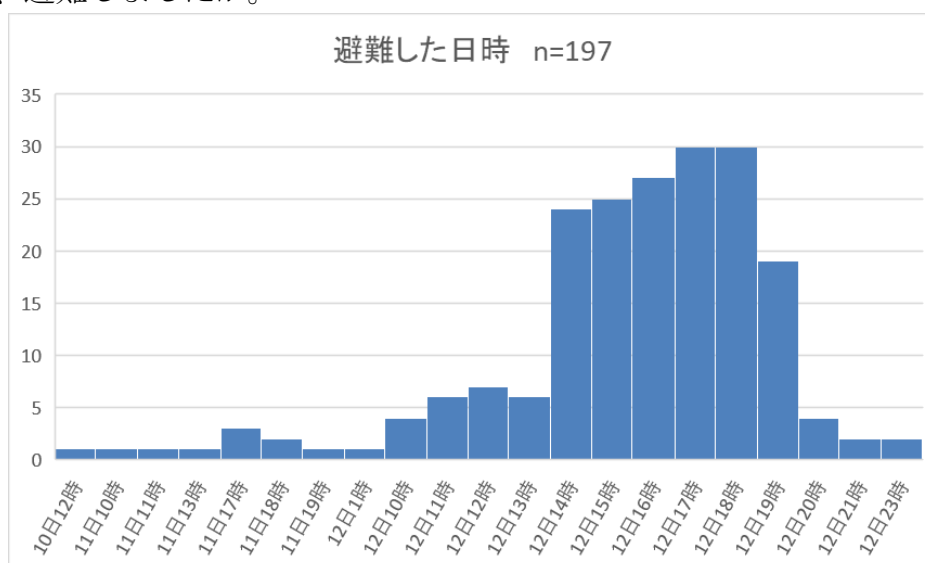


【その他】

消防団が避難しましょうと呼びかけられた／町会の方が車で避難を呼びかけていた／近くまで水がせまってきたから／多摩川・平瀬川の水位、ライブカメラで見ていた／近隣の人から LINE で水がきたことを伝えられた／目の前のマンホールを水道局の方が開け、もう少しで冠水すると叫んでいたのを聞きいた為

⇒台風前から避難することを決めていた方は少なく、周囲の様子や浸水しているのを見て避難を開始した方や、行政からの避難勧告等をきっかけに避難した方が多い。

2) いつ、避難しましたか。

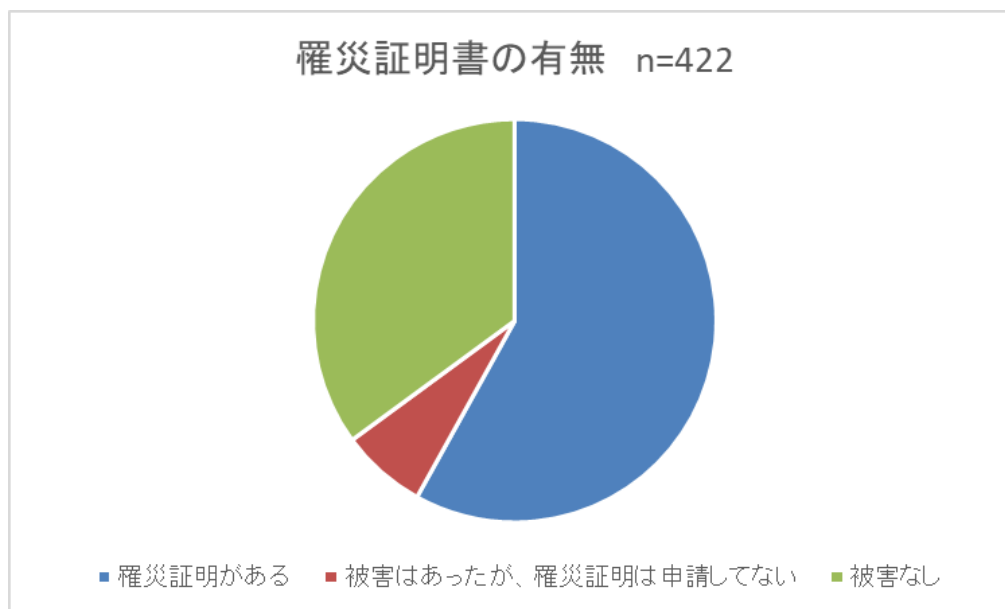


⇒各地区に避難指示が発令された14時頃から19時に避難を行った方が最も多い。

2. ご自宅の被害と被災後の生活について

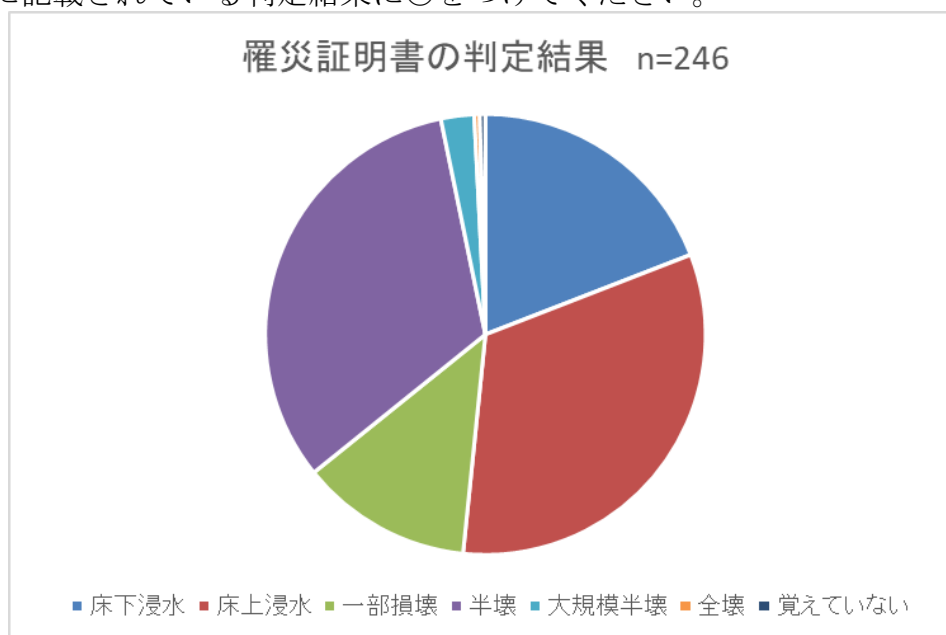
※台風19号後に転入された方はご回答不要です

質問2 リ災証明を申請し、受けとられましたか？



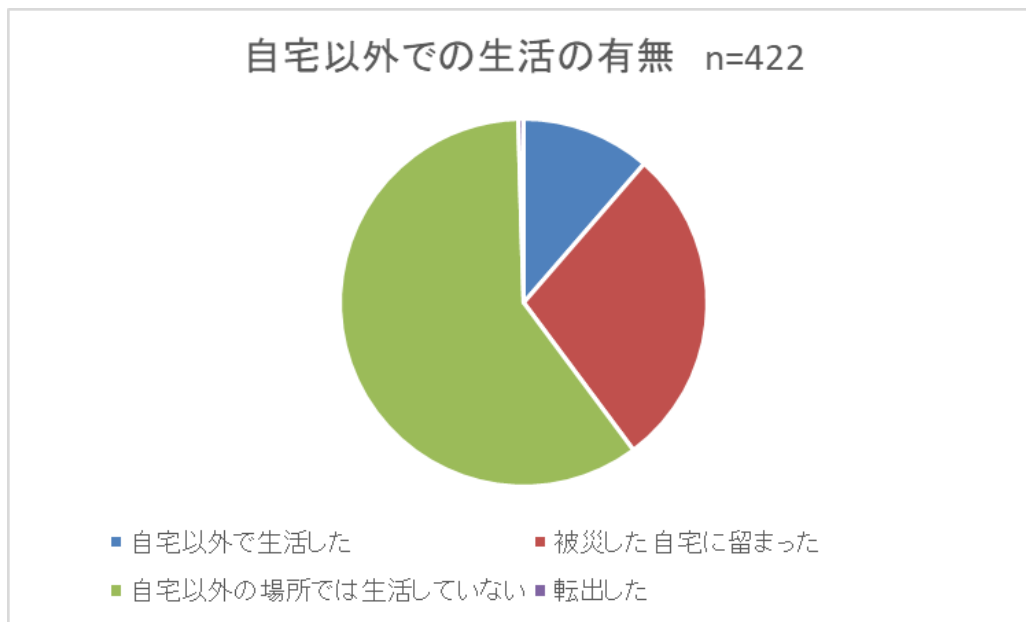
⇒約6割が罹災証明書を申請している一方で、被害があったものの罹災証明書を申請していない方が約1割を占める。

1 リ災証明に記載されている判定結果に○をつけてください。



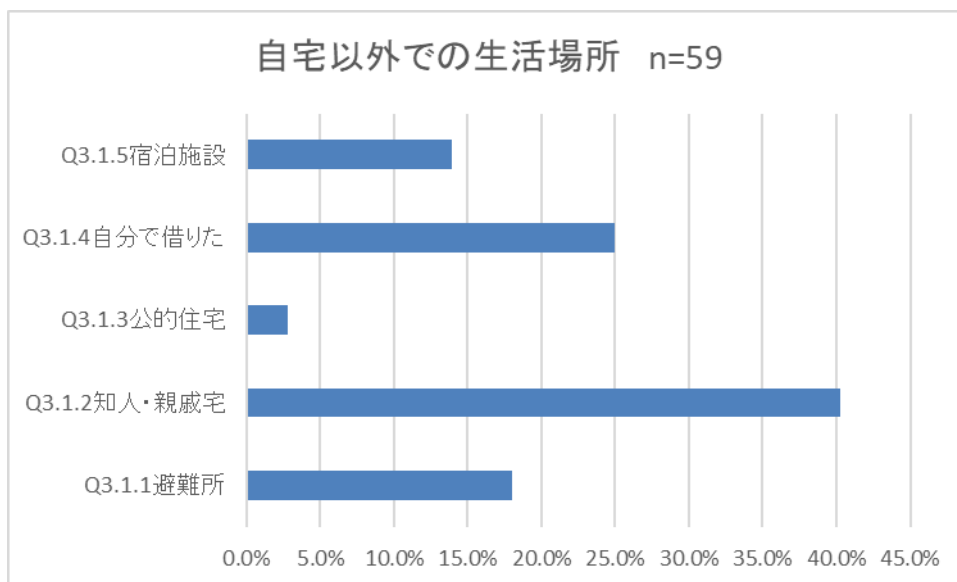
⇒調査対象世帯については、半壊・床上浸水の被害が多かった。

質問3 台風の後、自宅以外の場所で生活しましたか？



⇒約3割が被災した住宅に留まった一方で、1割強が自宅以外で生活した。

1 過ごした場所すべてに○をつけ、過ごした期間を教えてください。



【避難所での生活時期】
 10月11日～10月13日 10月14日以降の方（数名）
 【知人宅での生活時期】
 10月12日～10月13日／10月12日～11月・12月／10月12日～翌年2月/3月/4月/5月
 【公的住宅での生活時期】
 10月18日～翌年6月末日など
 【住宅を自分の費用で借りた時期】

1月11日～3月8日／11月1日～2月10日／10月25日～2月28日／11月後半～2月末日／1月15日～4月15日／10月15日～3月15日／11月6日～2月29日／10月30日～4月15日／11月16日～12月16日／翌年1月～3月／12月1日～1月31日／11月25日～2月25日／1月15日～2月28日／12月1日～2月16日／12月1日～3月15日／

⇒自宅以外で生活した方のうち、約4割は知人宅で生活をしている。

質問4 被災後の生活場所（質問3）について、その場所を選択した理由は何ですか。また、自宅や仮住まいなどで、困ったことがあれば、記入してください。

【自宅を選んだ理由・自宅での生活で困ったこと】

1階は浸水したが2階にもトイレが有り最小限の生活が出来た為／自宅に留まったまま改修工事が可能だったため／3階建てで2階（リビング・ダイニング）以上で生活していた／子供が小さい／要介護の者がいたため、自宅に留まった。工事中はショートステイを利用して預かってもらったのが助かった／他に行く場所がなかった／当初は水道が不通なので、娘の家に風呂等に行っていた／電気、水道、ガスなどは、通常通りに使用出来電気、水道、ガスなどは、通常通りに使用出来たから／防犯のため／リビングが被災しなかった為、仮住の優先対象にならなかった為、自宅にいた。自宅は断水していたので、大変だった／公的住宅も可能な場所は埋まっており、ペットもいることもありすぐには困難だった為、暫くブルーシートを敷いて生活をした／父(高齢)が避難を拒んだため／片付けを進めなければならないから

【知人・親戚宅を選んだ理由・困ったこと】

娘の家だから／実家が近くにあったから／しばらく自宅で生活していたが、ヒルやムカデ等の虫がでるようになり、娘の家へ引っ越した／親戚や家族の家に居候では身の置場所がなく、精神的に負担だった／実家が近くで普段から行き来もして、部屋も空いていた／仮住まい先もすぐに見つからず、選択肢もなかったため／指定避難所に様子を見に行ったところ、毛布しかないとの事で、高齢の両親では無理と判断したため

【自分で家を借りた理由・困ったこと】

リフォーム会社が物件を紹介してくれた／お風呂が使えなかったので借りた／通勤しやすい場所だった。病院にも通院し易かった。／後片付けに通ったり、自宅のそばリフォームを見守りたかったところ、すぐに入居できる場所があったので／自宅に近い公的住宅への入居は無理だったので自費で借りた／自宅から近いアパートを借り、家の工事が終わるまで過ごした

【その他】

お風呂が2週間ほど使えなかったため、ビジネスホテルで暮らした

⇒被災したが自宅で生活した人のうちの一定数は2階がリビングで2階以上にもトイレがあった世帯だった。知人・親戚宅で暮らした人は普段から親戚宅に行き来している世帯や高齢者がいる世帯等が多かった。自分で家を借りたのは、修理中に住む場所として確保した世帯が多く、リフォーム会社から紹介された世帯も複数あった。

質問5 被災後の生活全般において、困ったことがあれば、記入してください。

例：「近隣の商店が閉まっていた」「公的住宅が遠かったので、自宅の後片付けが大変だった」「トイレや食事の準備が大変だった。」

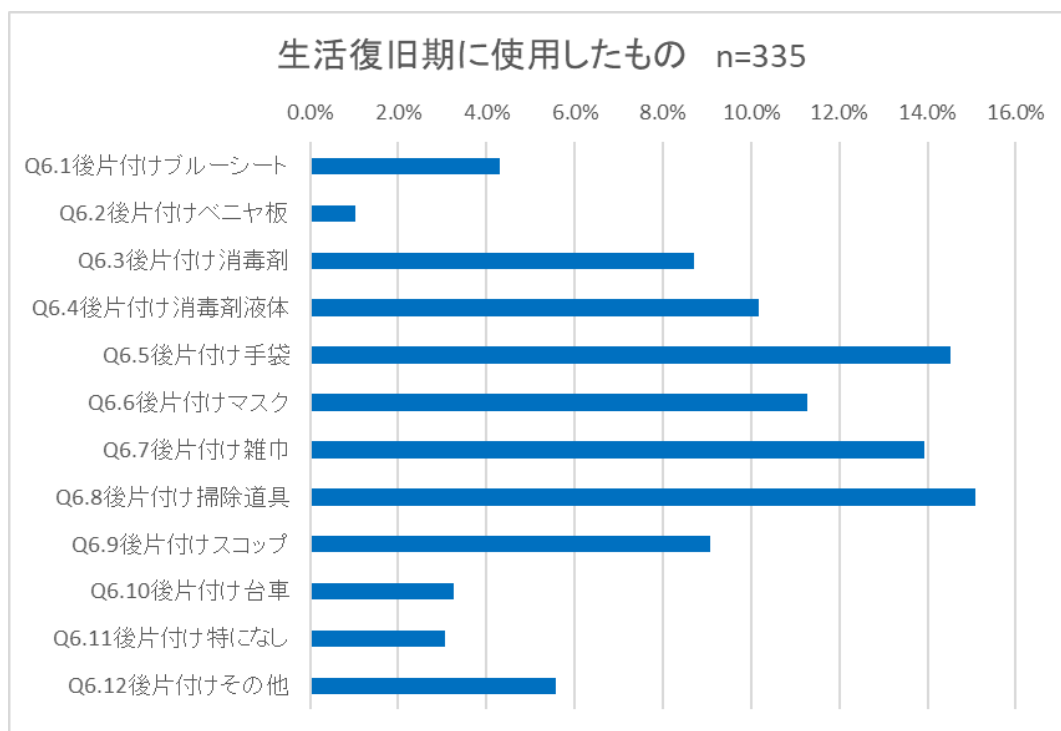
体調悪くする人が多いのではないか。私も血圧上がるし、不眠になった。／車も水だしなど大変だった／異臭があった／アレルギーがあるため食べられるものを購入することができなかった／泥や浸水した家具などの片付けが大変だった。／風呂が使えず、日帰り温泉に12月末まで通ったのが大変だった／キッチンが1か月余り使用出来ず毎日コンビニ弁当だった／下水泥土の臭い（悪臭）／トイレが逆流してきた／近隣の商店の商品が品薄だったり、しばらくは歩道もドロドロだったり、乾燥して砂埃がすごかった／避難所で情報がなく、皆勝手に場所取りをしていた／自宅の後片付けで疲労が重なり、体調を崩した。仕事が出来ず収入が激減した／情報がなかった事／洗濯（コインランドリーも利用）が大変だった。水が引いて乾いた後の粉塵で席が出たり、喉が痛くなったりした。／使えなくなった家具、書籍、衣類の片付けが大変だった／家の修繕や床下の消毒作業を行うのに業者もいっぱい、1か月以上かかった／役所の縦割行政。問い合わせてもたらい回しされた／自宅の修理業社がなかなか見つからなかった／災害ゴミがいつまでも回収されない。道路に溜った泥が乾いて、暫く砂ぼこりがひどかった。

⇒被災後の生活では、片づけが大変だったという声が多く、次いで周辺店舗が閉まっている、風呂や台所が使えない、悪臭、長く土ぼこりに苦しむ、体調を崩したなどがあげられている。

3. 台風 19 号時の物資の供給について

※台風 19 号後に転入された方はご回答不要です

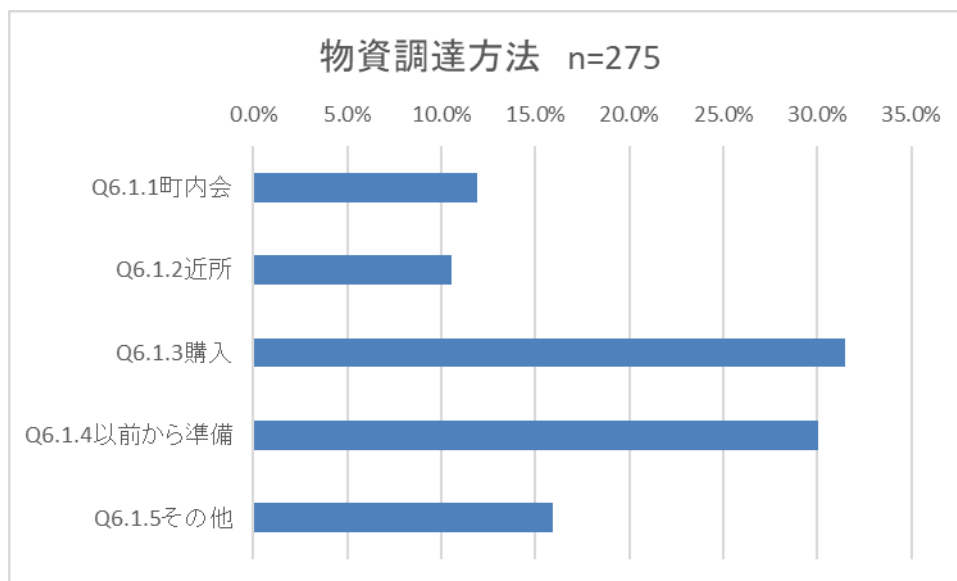
質問 6 台風 19 号後、被災した住宅の後片付けや生活の回復のために何をつかいましたか。あてはまるものすべてに○を付けてください



【その他】扇風機、ケルヒャー、かい中電とう、ポンプ、ホース、ゴミ袋、古新聞、ビニール袋（大）、洗淨のための長いホース、デッキブラシ、屋内乾燥用の除湿機、扇風機、消毒液、ごみを入れるビニール、土のう袋、排水ポンプ、高圧洗淨ノズル、スクレーパー、カメラ、レジャーシート、バケツ、高圧洗淨機、庭用洗淨機、自転車、ハンドジェル、水、水中ポンプ、扇風機、メガネ、ゴーグル、ゴミ袋、消毒液噴霧器、床下の水を出すポンプ。水をまくホース。排水ポンプ、スポンジ、ハンマー、ノコギリ、長ぐつ、長ぐつ、汚れてい良い服、ゴミ袋、ほうき、ちりとり

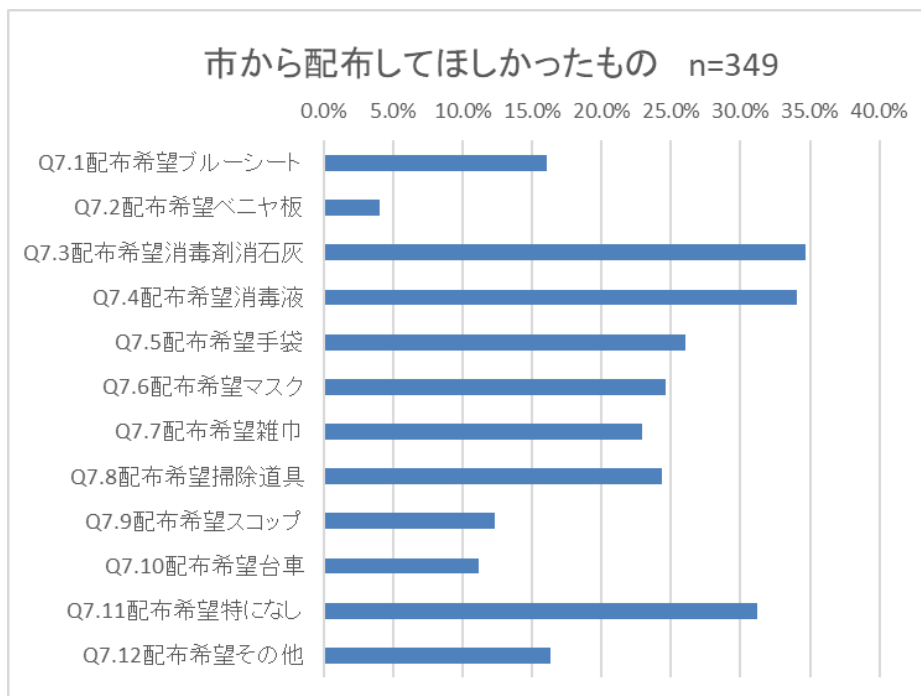
⇒手袋や雑巾、掃除用具など片づけに関連するものの使用が多い。

1 それらはどのように調達しましたか。あてはまるものすべてに○をつけ、後ろの（）内には「ブルーシートと台車」のように具体的に調達したものを教えてください。



⇒物資は、以前から準備していたものや購入したものなどを使用しており、自ら物資を調達している。

質問7 台風19号時に区などから配布してほしいものはありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください



⇒使用した方が多い掃除用具と比べて消毒剤の配布を希望する方が最も多く、日常で使用しないものの配布を希望している。

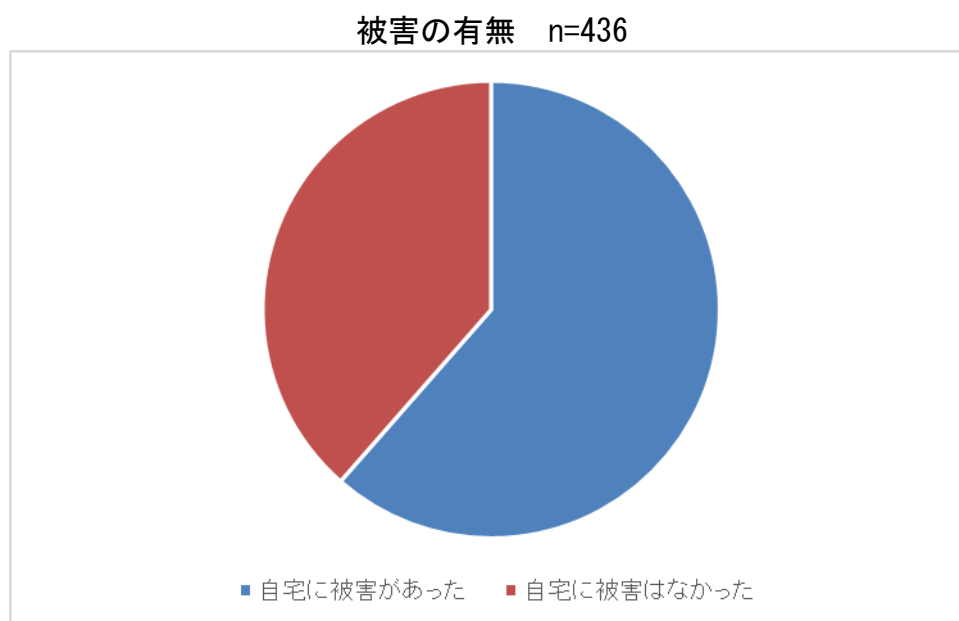
質問8 上記のものも含め、水害に備えて、自治会など地域で備蓄しておくの良いと思うものは何ですか。例：ブルーシート、土のう

土のう、台車、ブルーシート、消毒剤、マスク、手袋、食料、ポータブル電源、排水ポンプ、スコップ、発電機、簡易トイレ、メガホン等を求める声が多い

4. ご自宅の修理費用や支援内容について

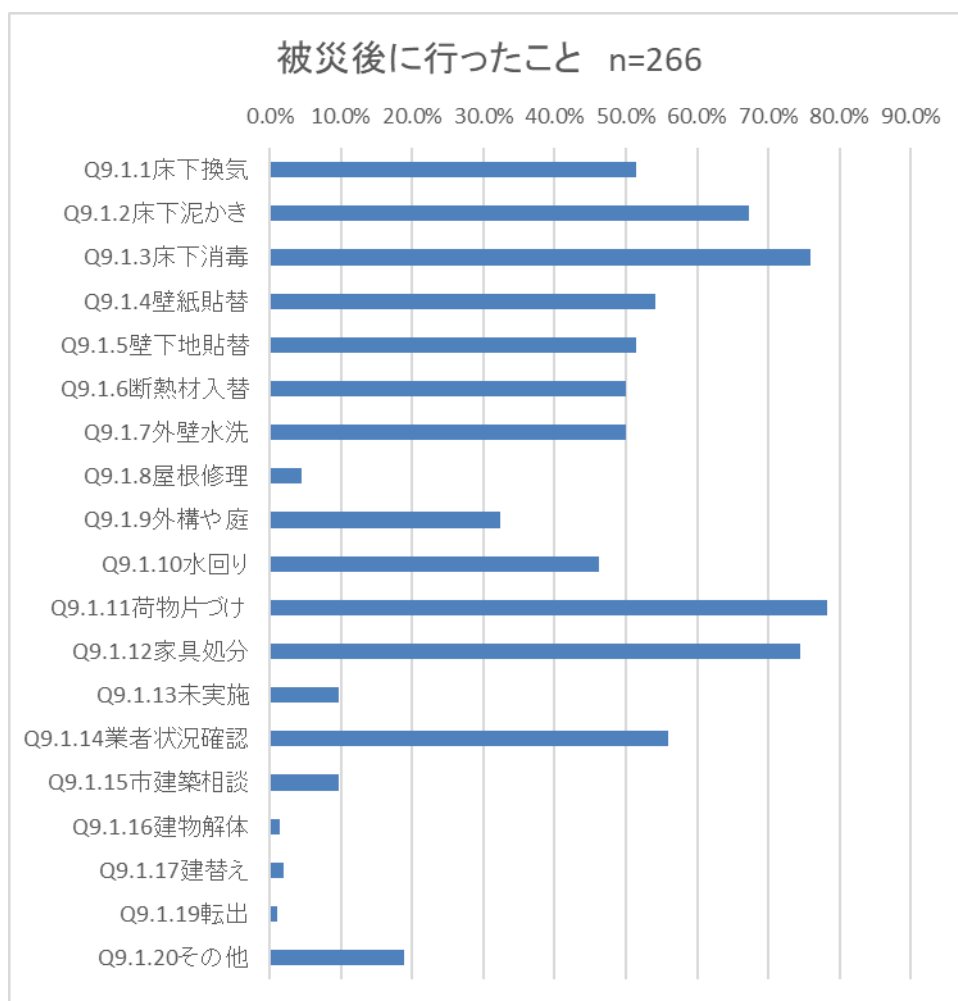
※台風19号後に転入された方はご回答不要です

質問9 ご自宅に被害がありましたか



⇒調査対象世帯では、自宅への被害があった方が、約6割を占めている。

1 被災後にやったこと、すべてに○をつけてください



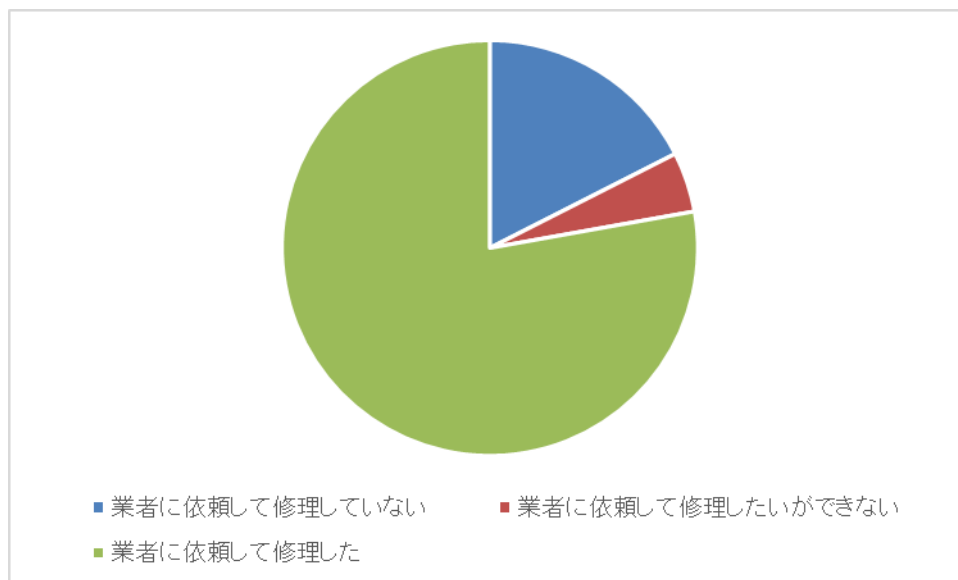
【その他】

1階部分をリフォーム／エアコン室外機とりかえ／自動車やバイクを廃車にした／床下点検口をつくった／除湿剤をまいた／床においた通信機器や電気機器の買い替え／土壁を換装後板張り塗装／水道管の修理／床下の断熱材の入替え／ドア・ドア鍵交換／

⇒被害があったと回答した方のほとんどが、濡れた荷物の片づけや家具の処分を行っている。また泥下かきや床下消毒なども多くの方が行っている。修理を行ったと答えた回答者の約半数が、壁紙の貼り替えや断熱材の入替え、水回りの工事をしている。

2 業者等に依頼して、修理しましたか。修理した時期はいつ頃ですか。

業者への修理依頼の有無 n=257



⇒ご自宅に被害があった方の8割弱が修理を実施している一方で、一部の方は、修理したいができていない状況である。

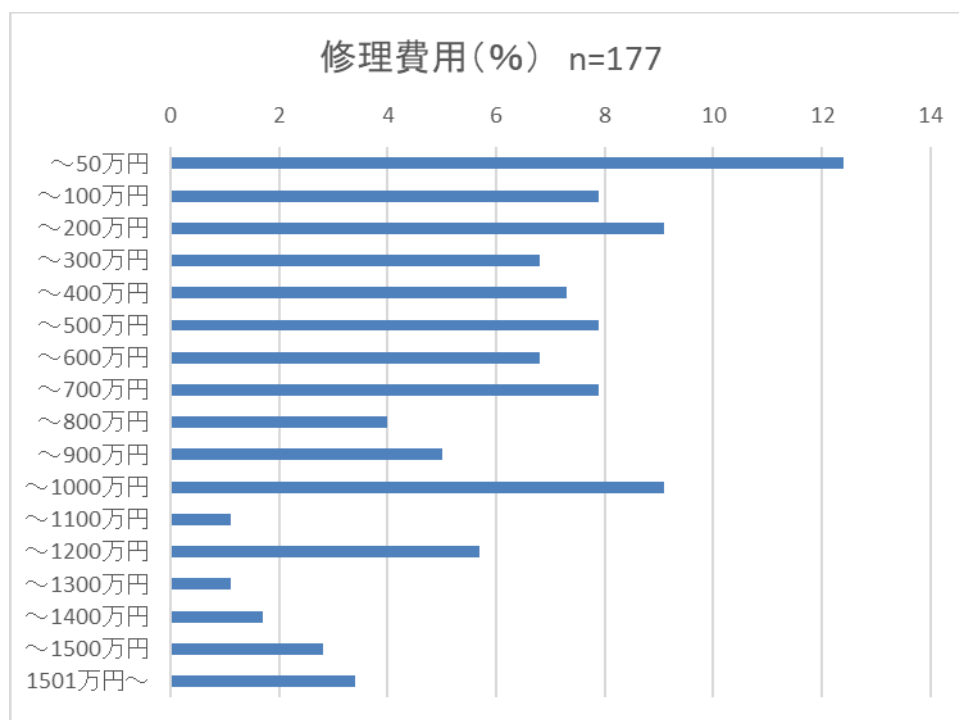
修理を行った方にお聞きします。

1) 修理がその時期になった理由は何ですか

火災損害（水害）保険会社の方との調整（保険会社の査定）が終わり、修理業者へと順序があった為／業者多忙につき業者の申し出の期間となった／一日も早くリフォームしたかったため／仮住い先の調整のため／後片付けに時間がかかり、その時期になった／コロナで思うように打合せができなかった／自分で業者を探して相見積りしていたので

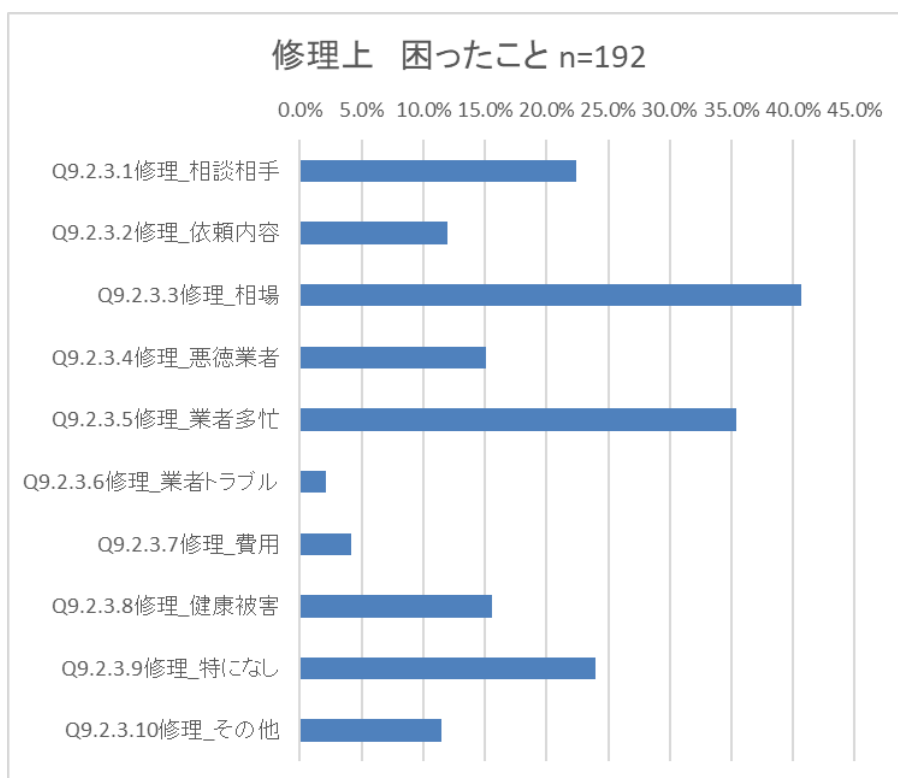
⇒少しでも早く工事をしたくて業者に依頼した世帯が多かったが、業者の都合により修理時期を決めたという方が大半を占めている。また、損害保険会社の査定を待ったという世帯も一定数あった。コロナ禍で打合せ等が遅れた世帯も一定数あった。

2) 差支えない範囲で、修理などの経費を教えてください



⇒修理費用は100万円以下が約2割だが、1000万円以上かかった世帯も多く、修理費用は幅広い。

2) 修理を依頼する上で、困ったことがありましたか

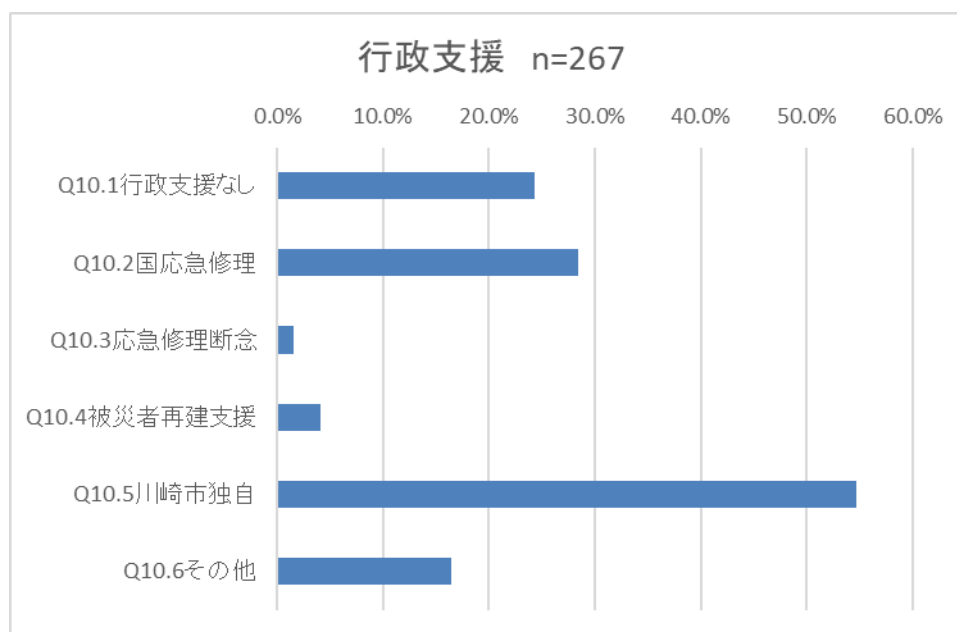


【その他】

床下の乾燥に時間が必要だったので、リフォーム時期の判断が難しかった／誰に相談したらよいかわからなかった／知り合いや親戚に工務店の人がいて助かった／業者が行政支援の手続きをなかなかとってくれない／行政支援の範囲がわかりにくく、自己負担額がいくらになるかみえず不安だった／床下など乾燥が適切に行われたか不安／住みながらの修理になったので、貴重品の管理や工事のため立ち入り禁止になった際の宿泊場所の確保／管理会社がどの程度修繕をするのかが分からなかった／修理の範囲は何処までやればよいのか 壁を剥がすべきか 床板を剥がすべきか 等を基本的なことを住民が決断しないといけず不安だった／コロナ禍で修理のタイミングを逃した／水回りの設備を交換せず床を切り貼りしたが床鳴りする

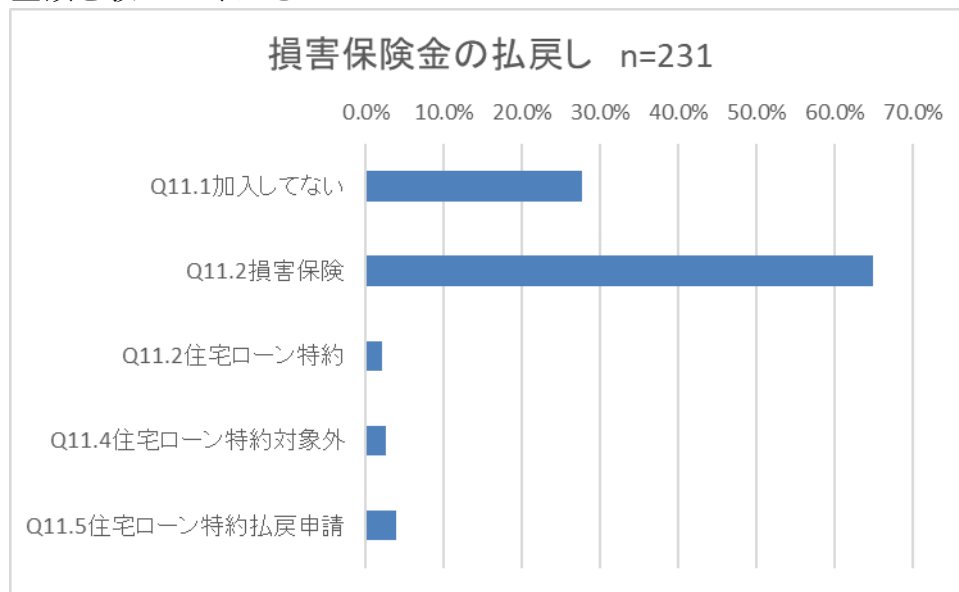
⇒修理の際には、業者との関係で時期が遅れたことや、相場が分からない、誰に相談したらよいか分からない、という回答が多く修理時期・修理費用に対して不安を覚える方が多い

質問 10 行政からの金銭的支援を受けましたか。あてはまる**すべて**に○をつけ、差支えなければ、金額を教えてください



⇒自宅に被害があった回答者のうち、川崎市の支援（被災者再建支援法の対象とならない、被害のあった世帯を対象とした30万円の支援）を受けた方が半数以上を占めている。

質問 1 1 損害保険金等の払戻しがありましたか。あてはまるすべてに○をつけ、差支えなければ、金額を教えてください

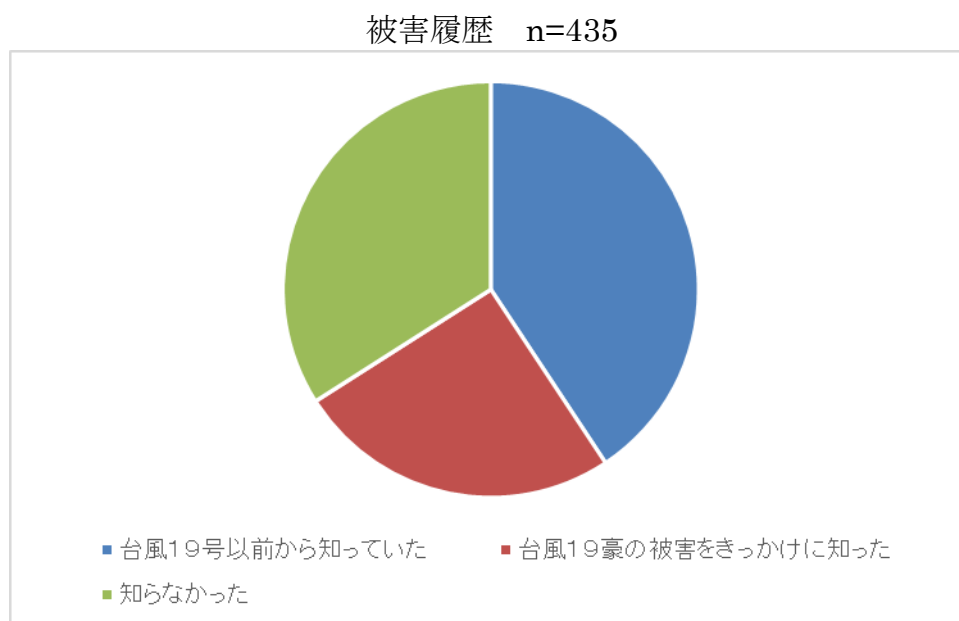


⇒自宅に被害を受けたと回答した世帯のうち、損害保険に関しては、加入していない方が3割弱いるが、6割以上が損害保険金の払い戻しを受けている。

5. お住まいの地域の安全性について

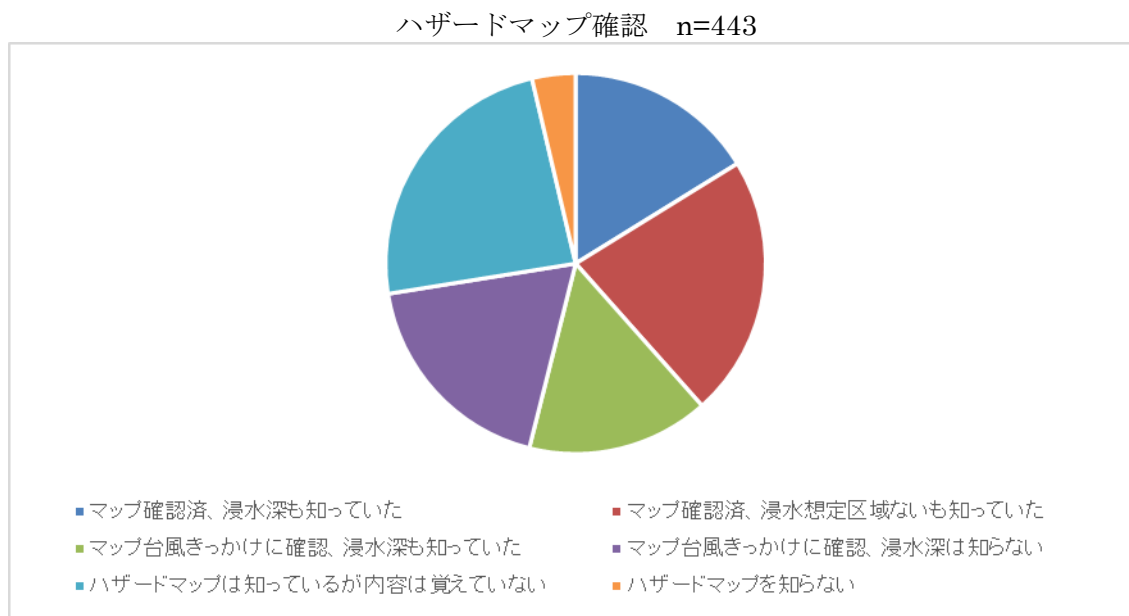
※すべての方を対象とした質問です

質問 1 2 お住まいの地域が過去に水害で被害を受けたことをご存じでしたか。



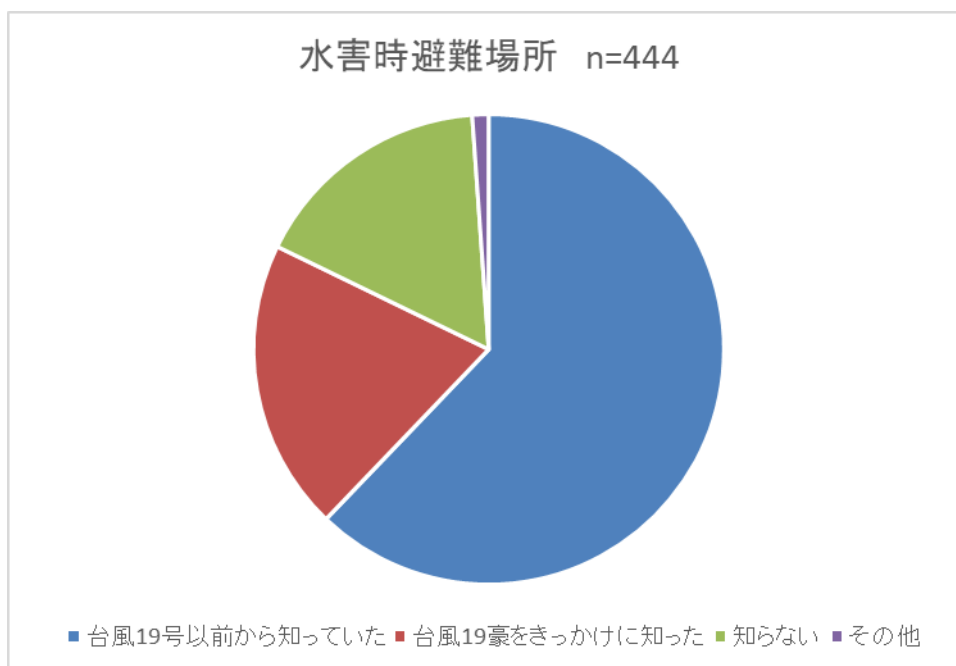
⇒約4割は、台風19号以前から過去に水害被害があったことを認知しており、
約3割は本台風をきっかけに過去の水害被害を知った。

質問13 ハザードマップを確認したことがありましたか？



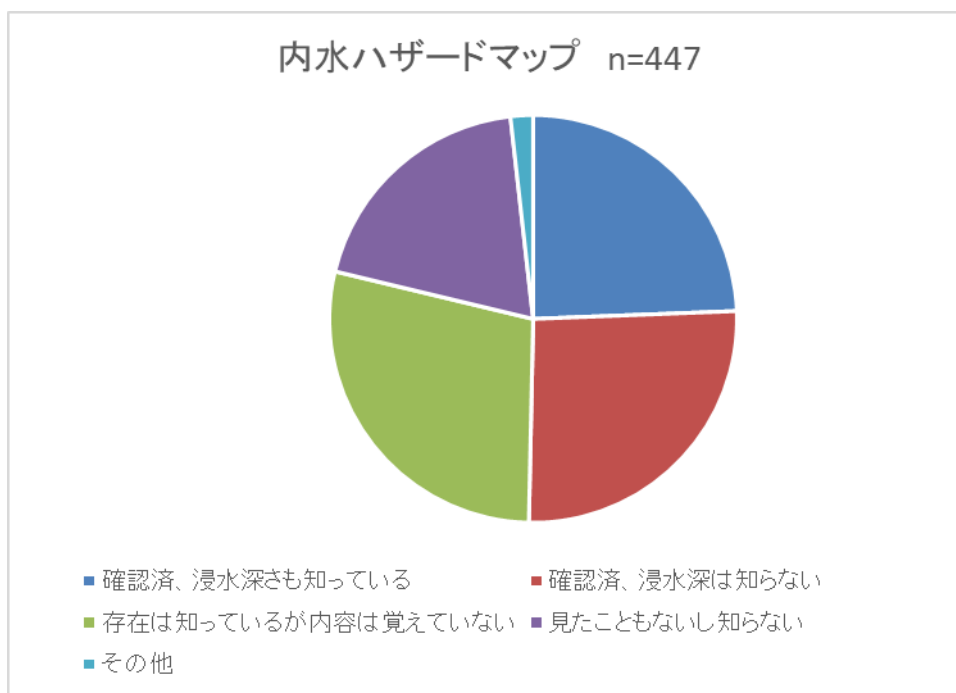
⇒約4割の方は、ハザードマップを確認していた。
また、3割の方は、本台風をきっかけにハザードマップを確認している。

質問14 市（区）が指定している、水害時に避難する避難場所をご存じですか。



⇒約6割の方は、水害時に避難する場所を知っていた。

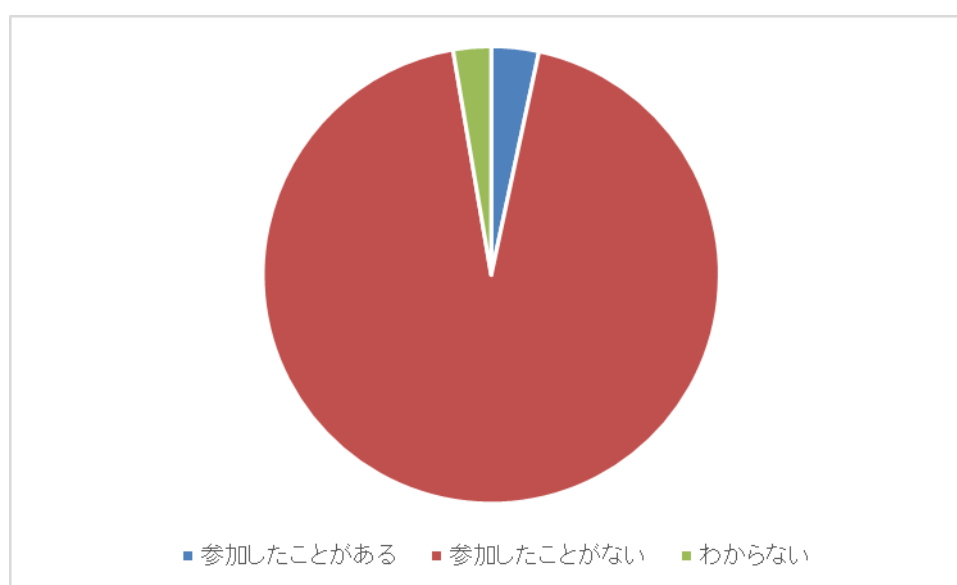
質問15 川崎市の内水ハザードマップを確認したことがありますか。



⇒約半数は、内水ハザードマップを確認しているが、約3割は、存在は知っているが内容は覚えていない。

質問16 台風19号の前に、水害時の対策や避難訓練等に参加したことがありますか。

水害対策や避難訓練参加 n=447

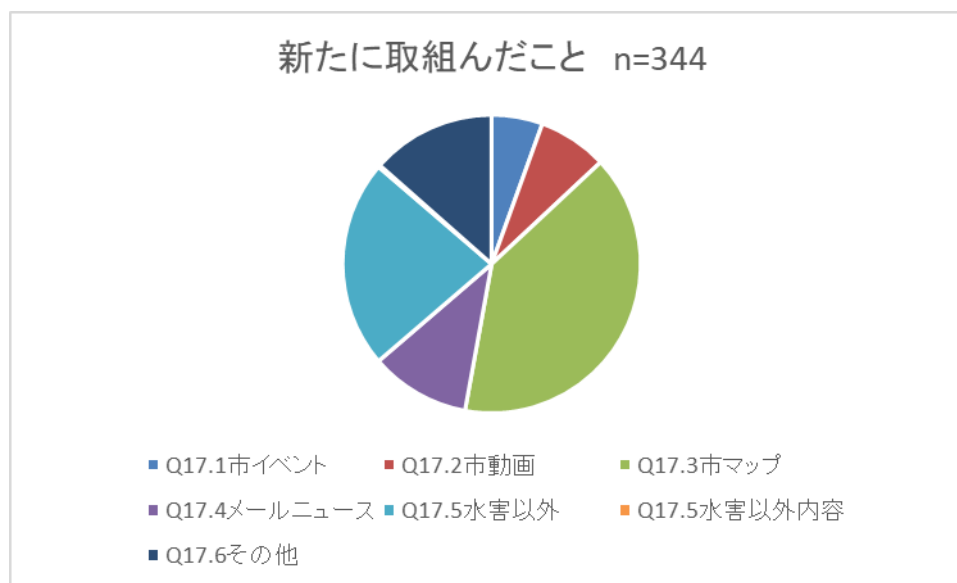


【訓練の内容】

地震に対するものしかない。地区の避難場所は河川敷です。／着衣水泳／防災訓練（消火・けが人の処置等。町会主催で）／避難所開設訓練

⇒ほとんどの意図が水害時の対策をしたり、水害の避難訓練に参加したりしたことがなかった

質問 17 台風 19 号の被害を経験されて、新たに取り組んだこと、備えたことがありますしたら教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

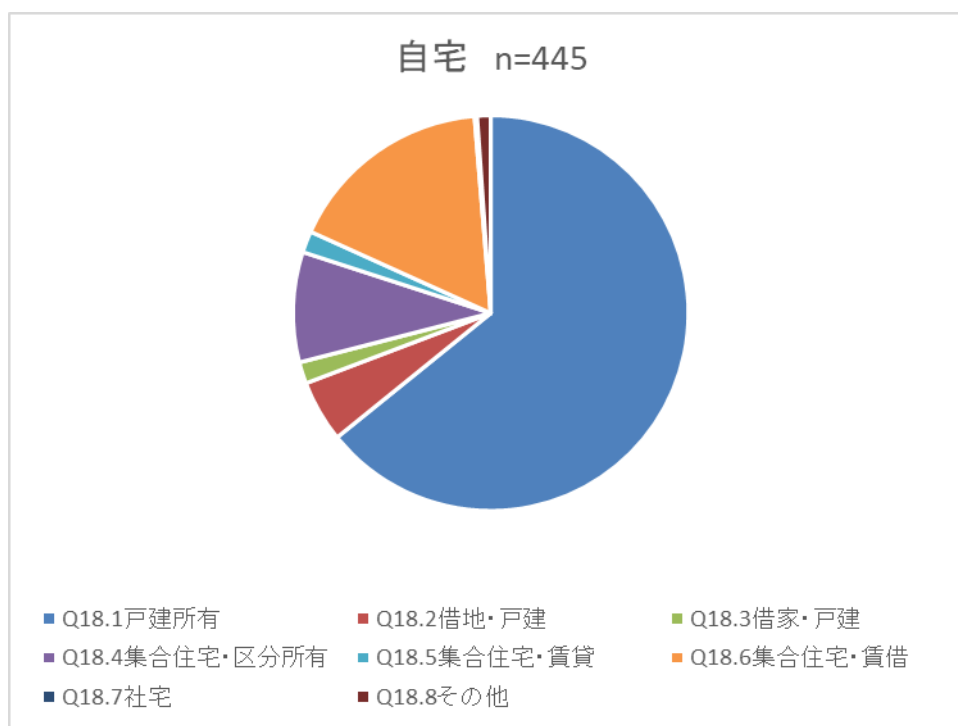


⇒本台風を契機に新たに取り組んだこととして、川崎市のハザードマップを確認した方や、水害以外の災害に備えるようになった方が多い。

6. ご自宅やお住まいの地域について

※すべての方を対象とした質問です

質問18 ご自宅について、あてはまるものすべてに○をしてください

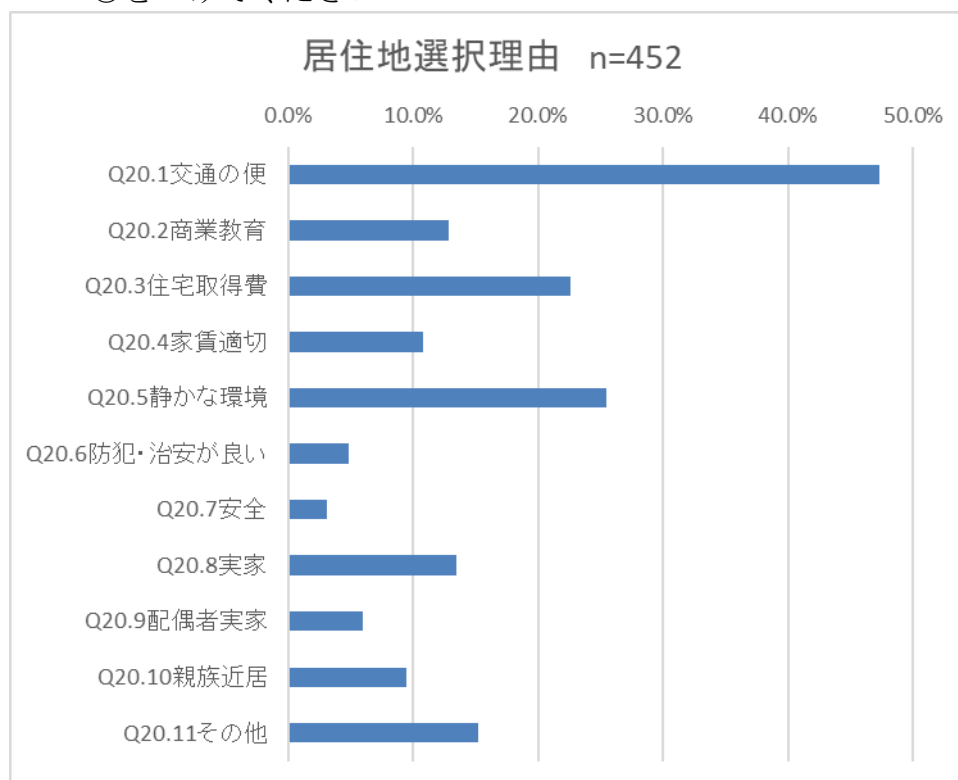


回答者の約65%が戸建で土地建物所有、約17%が集合住宅を賃借、10%弱を集合住宅を区分所有している。

質問19 現在のところに住み始めて、何年経ちましたか

10年未満が約30%、10年以上20年未満が約25%、20年以上30年未満が約10%、30年以上40年未満が約10%、40年以上が約25%でした。

質問 2 0 今のお住まいの場所を選んだ理由を教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください

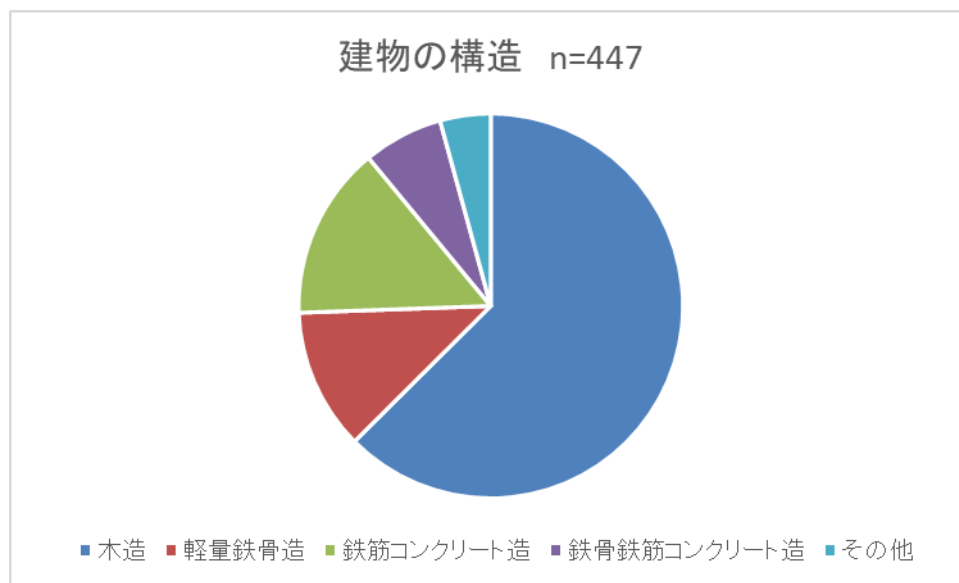


⇒現在の住まいを選んだ理由として、交通の便が良いから、静かで落ち着いた場所だから、住宅取得費が適切だったから、実家だから、という理由をあげる方が多い。

質問 2 1 建物は地上何階建てですか

平屋が約 2%、2階建が約 45%、3階建が約 40%、4階建以上が約 10%

質問 2 2 建物の構造は何ですか

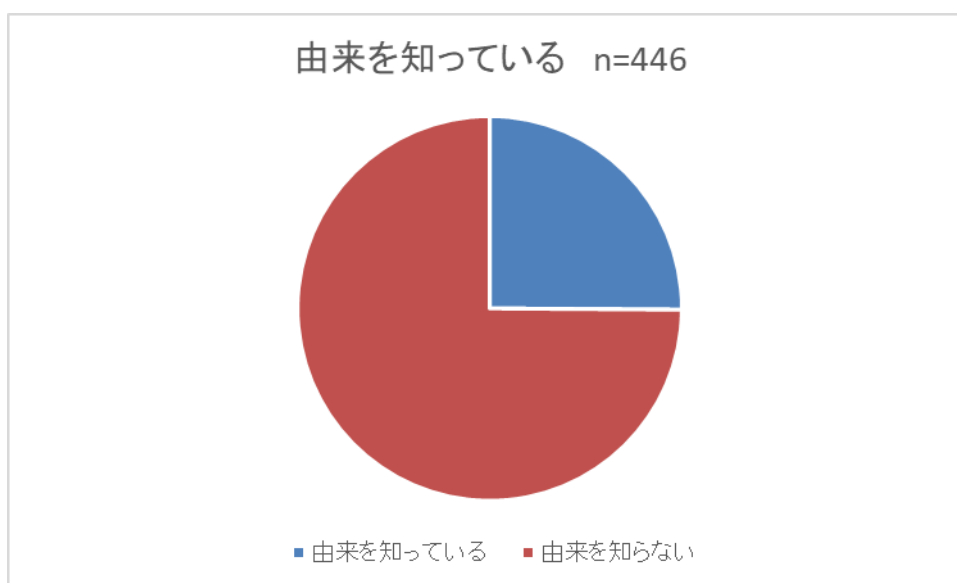


木造が約 6 割を占めている。

質問 2 3 現在お住まいのご自宅は、およそ何年前に建築された建物ですか？

10年未満が約 15%、10年以上20年未満が約 30%、20年以上30年未満が約 25%、30年以上40年未満が約 20%、40年以上が約 10%でした。

質問 2 4 お住まいの地域の地名の由来をご存じですか。

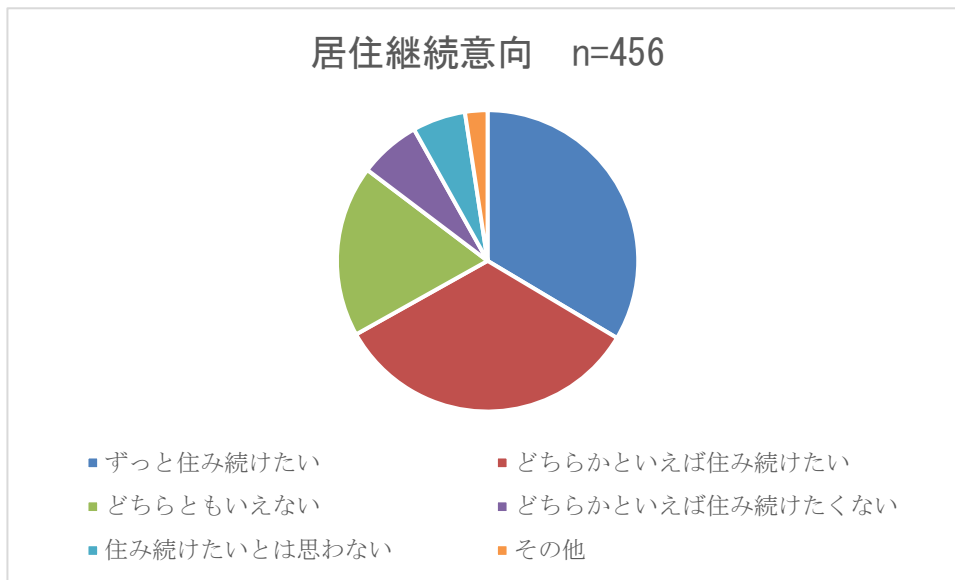


由来を知っている人は約 25%程度

7. 今後のご自宅の引越や建替えについて

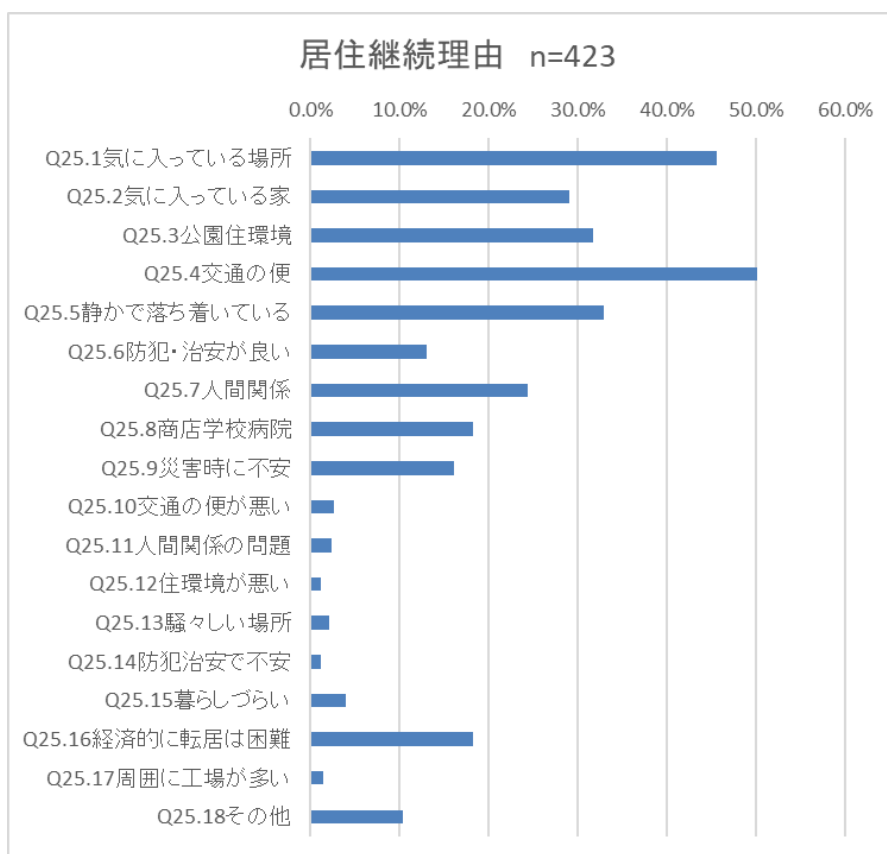
※台風 19 号後に転出された方はご回答不要です

質問 2 5 今後も、現在お住まいの場所に住み続けたいですか



「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」が7割弱だった。

1 その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください

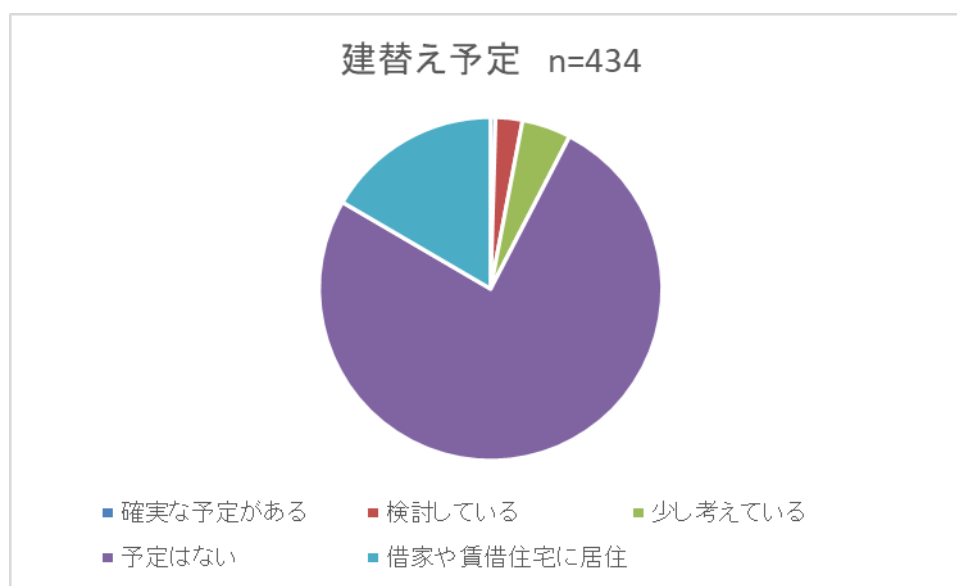


⇒今後の現在の場所に住み続けたいという方が多く、「気に入っている場所だから」「交通の便が良いから」や「静かで落ち着いた場所だから」など、地域への愛着や利便性を理由としてあげている方が多い。

質問26 ご自宅や住まいの地域について、不安や懸念があれば、お聞かせください

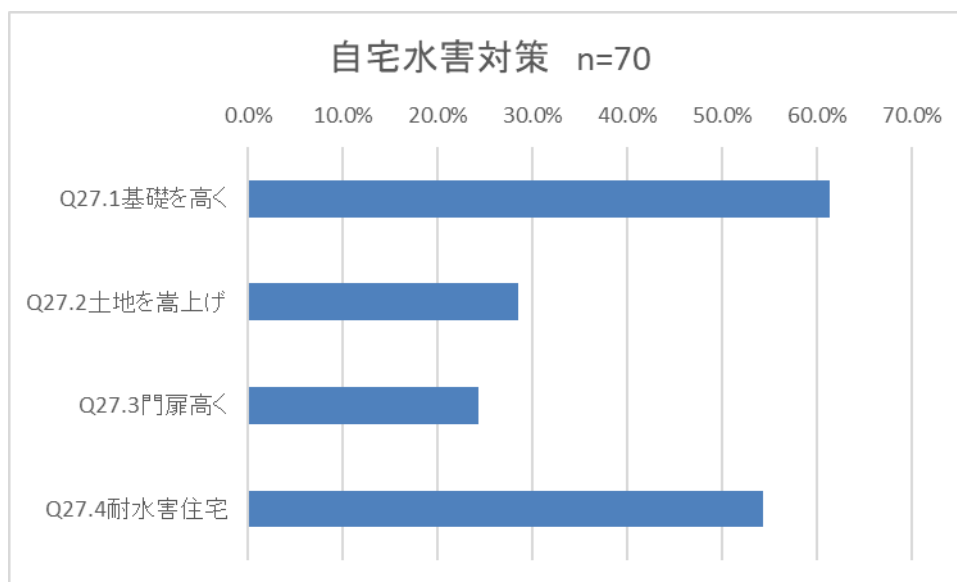
又このようなことがおきるのが怖い。今も1階の部屋では暮らせない。／従来から大雨が降り続くと下水が逆流して1時的にトイレ使用に支障をきたす。／超高層マンションばかり建ててないで災害のない街づくりをして欲しい。／家屋密集、避難場所少ない／土地を手放した後に建売の3階建が建つ／準工業地区でするので騒々しい音／大雨時の多摩川の水位、下水道の逆流が心配／一人暮らしのアパートがたくさんあってどのような人が住んでいるのか分からない／行政側の対策があまり見えてこない／災害詐欺／かすみ提の存続／台風後、どこまで行政が対策を考え実行してくれたのか／アパート在住だと地元の方との交流が薄く、防災時の対応には普段からのコミュニケーション不足を感じる／そもそもかすみ提の内側に何故住居地があるのか／多摩川の決壊

質問27 ご自宅は、今後10年以内に建替えや増改築を行う予定はありますか



建替えや増改築を行う予定はないが8割強を占める

- 1 将来、お住まいの場所で、建替えや増改築をしたら、行いたい対策はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

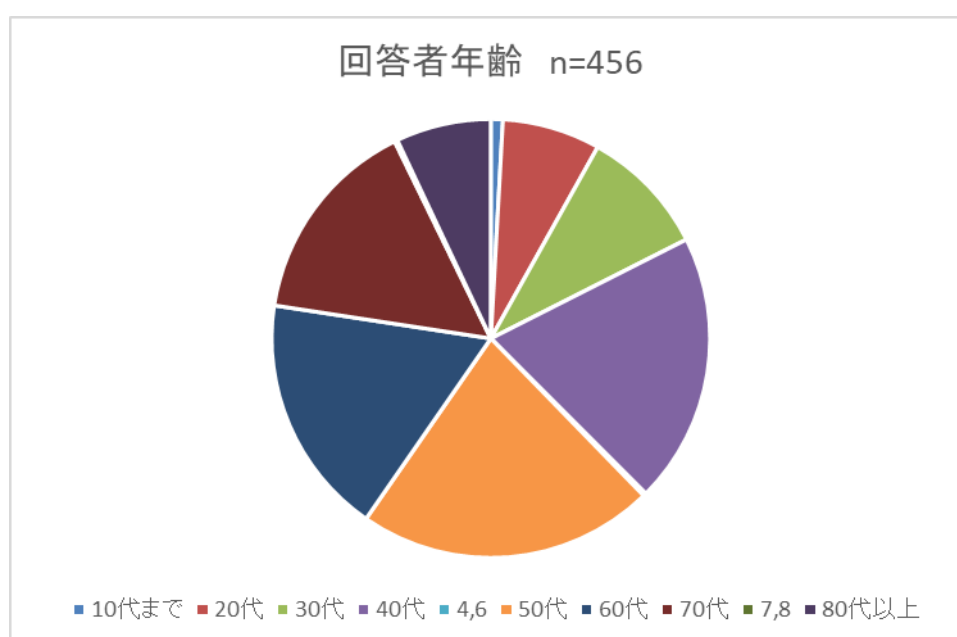


基礎を高くすることと、水害に強い住宅を建てたい人が多いが、土地の嵩上げを希望する人も、回答者中の3割弱いる。

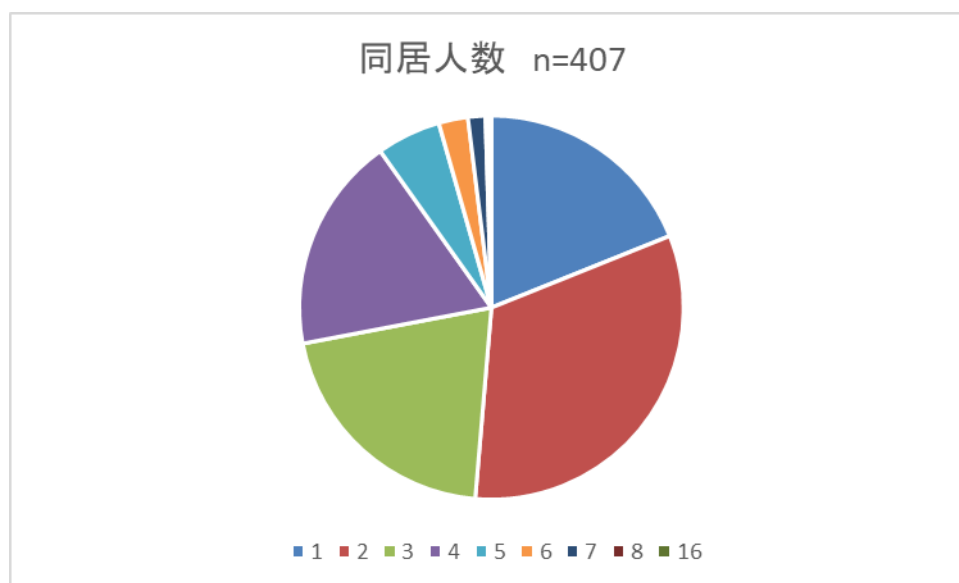
8. ご自身やご家族について

※すべての方を対象とした質問です

質問28 台風19号（2019年）当時の、あなたの年齢を教えてください



質問 2 9 台風 19 号（2019 年）当時、自宅で同居していたのは、あなたを含め、何人でしたか



以上